



阪大Fコース 地域密着型総合診療医養成コース

F1:総合診療医養成コース

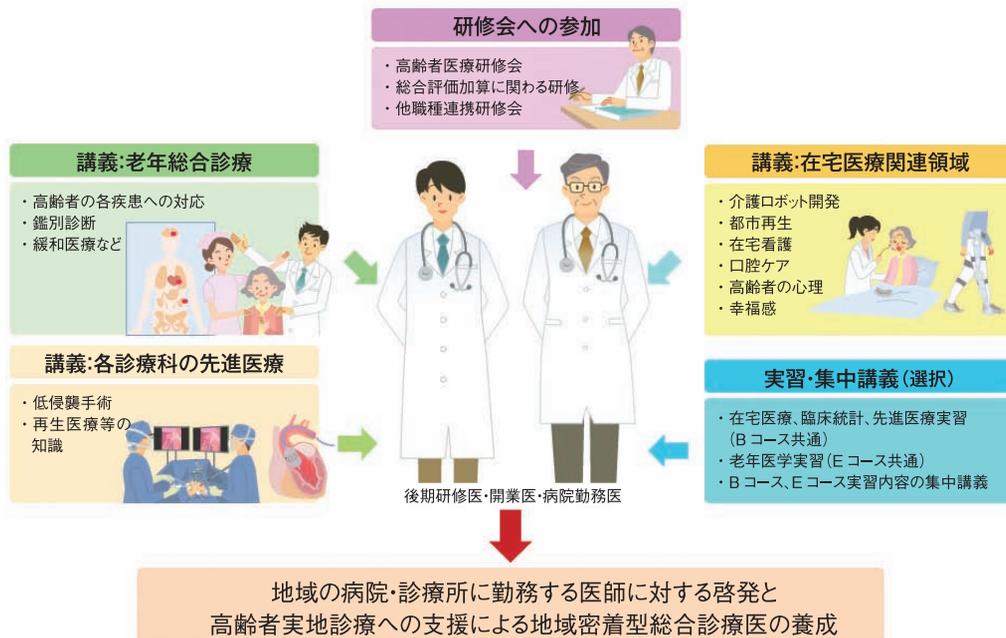
地域で活躍している医師を対象に、高齢者でみられる疾患だけでなく緩和医療、先進医療、介護ロボットなど幅広い視点からの教育を提供することにより、総合診療医としての実地診療のスキル獲得、高齢者医療への精通、実習参加による独自のスキル発展を目指します。修了要件を設定し、修了証を発行するコースです。

対象者： 医師（診療所・病院・保健所・行政勤務の医師、その他医療関係施設勤務の医師）、後期研修医

修業年限： 1～2年（講義・演習の履修と実習期間は離れてもよい）

- 概要：**
- eラーニング講義システムからお好きな講義を選択して、受講できます。
 - 下記のいずれかの研修会を受講して頂きます（既に受講を終了している場合は 修了証の提出のみ）。
 - a.日本老年医学会主催「高齢者医療研修会」または全日本病院協会主催「総合評価加算に関わる研修」
 - b.在宅医療推進のための地域における「多職種連携研修会」
 - c.大阪大学で上記a.b.に相当する研修会を開催することも予定
 - eラーニング講義のみではなく、介護ロボットや老年医学に関連した集中講義や実習を受講できます。

阪大Fコース：地域密着型総合診療医養成コース 総合診療医養成コース (F1コース)

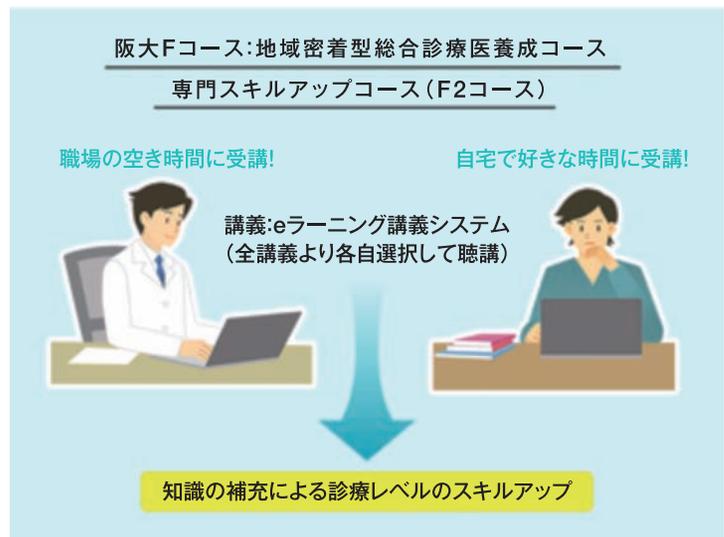




阪大Fコース 地域密着型総合診療医養成コース F2:専門スキルアップコース

医学部医学科生、初期研修医、後期研修医、既に専門医をお持ちの先生、医師会所属の先生などで、総合診療や老年医学に関する知識を補充することによりご自身の診療レベルのスキルアップを目指すコースです。公開されているeラーニング講義を自由に選択いただき、御都合の良い時間に聴講して頂けます。修了要件はありません。

対象者： 医学部医学科生、初期研修医、後期研修医、大学院生、研究生、大学院修了者、医師（診療所・病院・保健所・行政勤務の医師、その他医療関係施設勤務の医師）



F1・F2 コース 受講の メリット

- eラーニング講義により、大阪大学医学部附属病院各診療科の講師による各種テーマの講義を受講出来ます。
- eラーニング講義は、いつでも都合の良い時に、好きなテーマだけをピックアップして聴講できます。
- 大阪大学で行われている介護ロボット研究や老年医学コホート調査の実習に参加することで、現在行われている高齢者医療に関連した研究に触れることが出来ます (F1コース)。
- 受講生の状況に応じて1～2年間の修業期間を選べます (F1コース)。
- 実習は、受講生の希望により、教員と相談して受講スケジュールを決めることが出来ます (F1コース)。
- 地域密着型総合診療医養成コースを修了した修了証を発行します (F1コース)。
- F2コースから実習・演習のあるF1コースへの移行も可能です。



教員より



是非、e-ラーニングをご視聴ください!

Fコース担当:特任助教 小黒 亮輔

本プログラムの中核をなすe-ラーニングは、大阪大学医学部附属病院の多くの診療科が参加して作成した講義システムです。プライマリケアで頻度の高い疾患の知識から、現在行われている先進医療の情報、在宅医療や介護ロボットなど、現在の高齢者医療を取り巻く様々なトピックを取りそろえています。日常診療の合間に、御都合の良い時に必要に応じてご視聴いただけますので、是非ともFコースに御登録ください!!